



平成 27 年 8 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社きんえい
代 表 者 名 取締役社長 丸山 隆司
(コード番号 9636 東証第 2 部)
問 合 せ 先 取締役経理部長 好井 裕一
(TEL. 06-6632-4553)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 3 月 12 日に公表いたしました平成 28 年 1 月期第 2 四半期累計期間(平成 27 年 2 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日)の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 1 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 2 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,580	40	40	20	7.17
今回修正予想 (B)	1,643	96	99	58	20.79
増 減 額 (B-A)	63	56	59	38	
増 減 率 (%)	4.0	140.0	147.5	190.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 1 月期第 2 四半期)	1,669	88	102	51	18.63

2. 修正の理由

映画興行事業は、前年同期には全国興行収入歴代 3 位となった「アナと雪の女王」が上映されていたこともあり、当初の業績予想(平成 27 年 3 月 12 日公表)では前期に比べ、売上高および営業利益を低めに見込んでおりました。当社といたしましては、「あべのアポロシネマ」が、「あべのハルカス」により知名度が高まった阿倍野地区における唯一の映画館であることを訴求し、シネマ会員制度の充実、事前にクレジットカード決済の必要がない座席予約システムの導入、メールマガジンやブログ等によるシネマ会員への情報発信、「あべのハルカス」など周辺施設とタイアップした販売促進活動などを積極的に進めてまいりました。当期には「アナと雪の女王」のような突出した興行成績の作品はなかったものの、相当の興行成績をあげた作品の数に恵まれたことに加え、シネマ会員数は 20 万人を超えるなど顧客基盤の拡充に成果があがってきたこともあり、この事業の売上高は前年同期に迫る見込みとなりました。また不動産事業においても、テナント誘致活動を進めるとともに、美装工事等を計画的に進め快適で安全なビルづくりを逐次進めた結果、入居率が上向き増収が見込まれるため、会社全体の売上高は前回発表予想を上回る見込みであります。一方、売上原価は、映画興行収入の増に伴いフィルム料は相応に増加しましたが、諸経費は部門別業績管理の徹底によりほぼ想定どおりに推移しました。その結果、各利益

ともに、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、修正が必要となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、第2四半期累計期間の決算短信は、平成27年9月8日(火)発表予定であります。

以 上